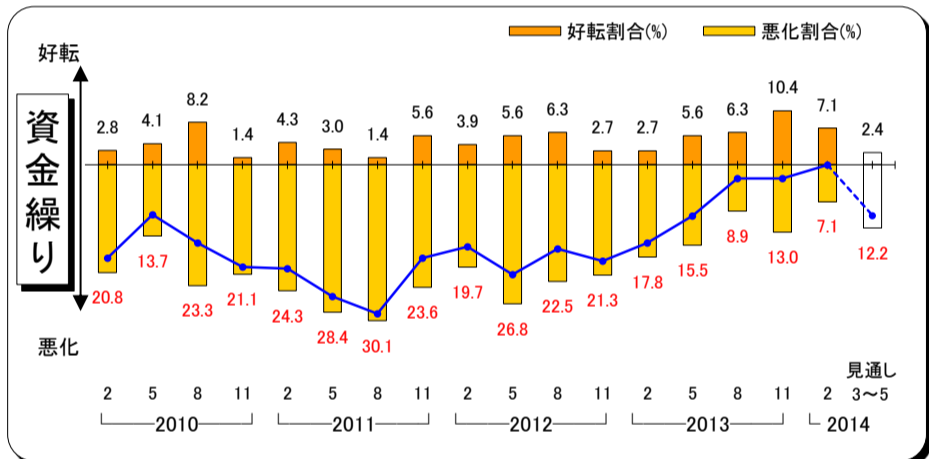
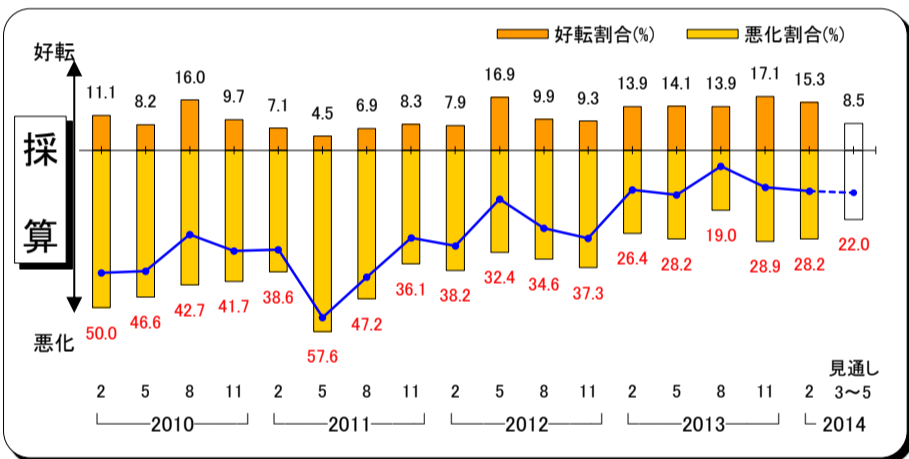
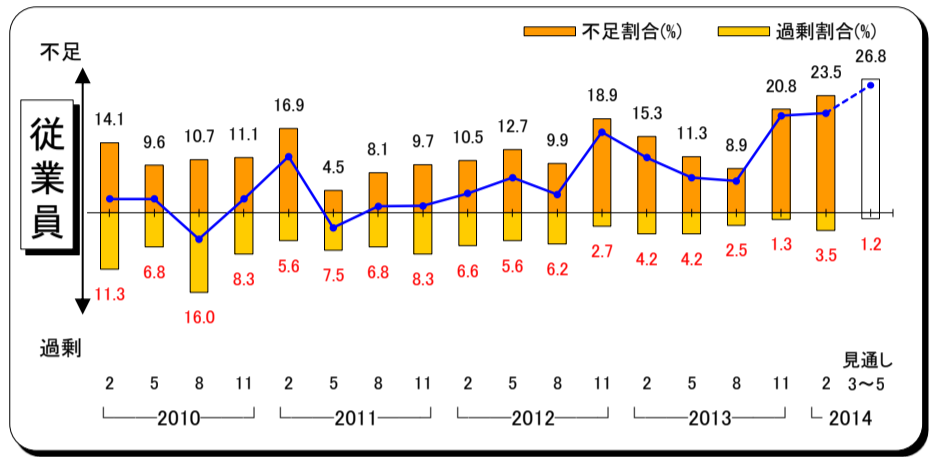
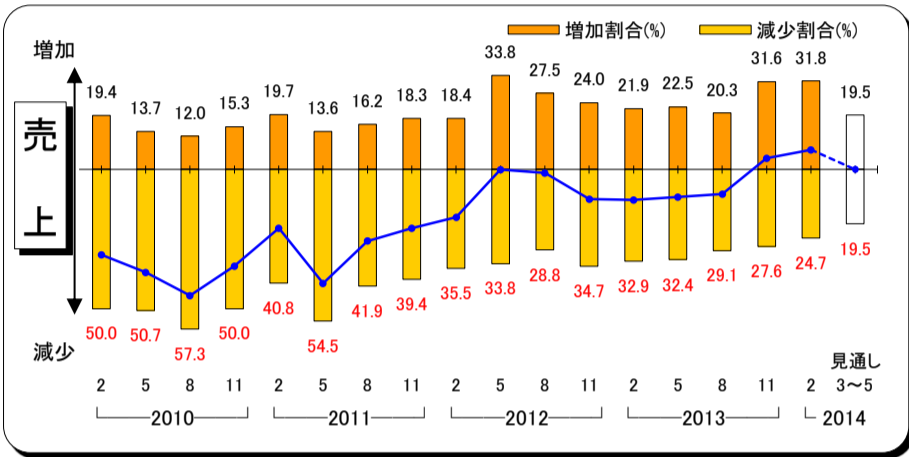
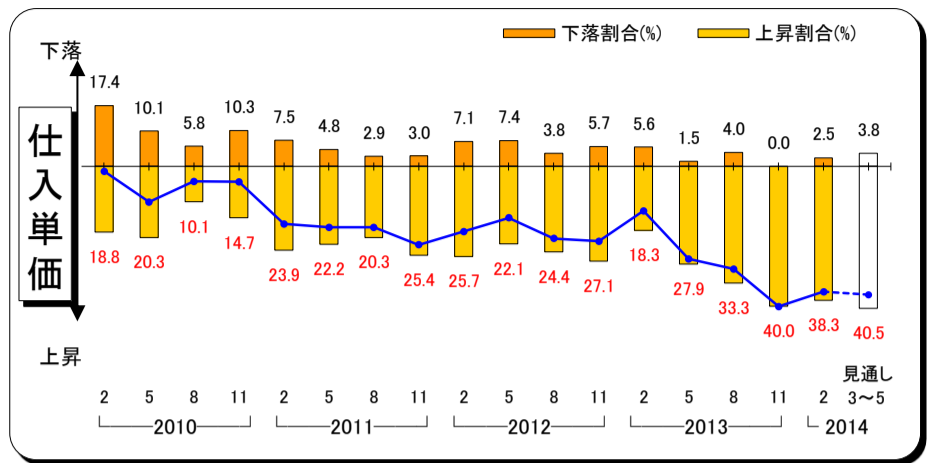
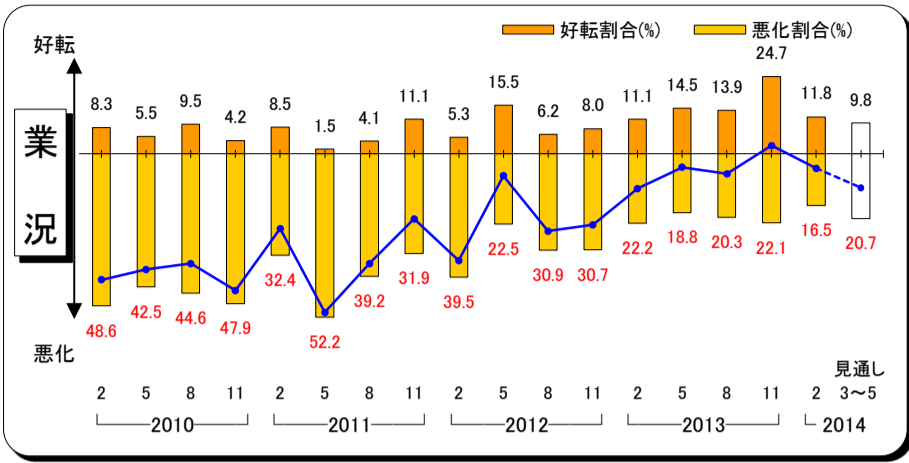


【サービス業】①



【サービス業】②

企業の声（順不同）

運輸附带サービス業	仕事量はいささか増加傾向にあるように思う。景気が良くなったような報道もみられるが、現状では実感が無い。高級品の販売が好調とのことだが、取り巻く状況は厳しいようだ。アベノミクスの余韻が継続中であるのか、基調的には希望を持っている。公共投資の拡大に対して人・物の動きにタイムラグが生じ、過剰気味だった人員が、現在は不足傾向となって少しくつくなっている。景気のテコ入れが一度に出たせいか、消化不良や不安定な状況を生んでいる。
貸事務所業	電気料金の値上げが収益を圧迫している。
建設機械器具賃貸業	ハローワーク等に求人を出しても20代～40代の人がない。
建築設計業	消費税増税の実施により、住宅の新築、改修等の減少が懸念される。
建築設計業	リーマンショック後の落ち込みがかなりあり、多少の売上増ではその時の状態まで回復できません。黒字の状況が3年続かなくては、リーマンショック前の状態に回復しないのです。
旅館・ホテル	大企業、特に自動車等の輸出業種を中心にアベノミクス効果が出て、賃上げが実施されるなどの上向きのニュースが流れているが、我々中小企業、とりわけサービス業には全くアベノミクス効果などは体感できない。それどころか顧客の単価上昇が見られず、逆に原材料の高騰による収益圧迫、さらに追い打ちをかける4月からの消費税率アップで、先行きは真っ暗である。政府はこのような状況を把握しているのか誠に疑問である。
旅館・ホテル	天候、円安などの影響による仕入単価（光熱費含め全般）の上昇に苦慮している。売上高の上昇が望めない。
ラーメン店	経営者と従業員の考え方の差が広がっている。労働・給料・その他、以前よりかなり手厚く行っているが、すぐにそれ以上の条件を要求してくる。考えさせられる。
専門料理店	2月は大雪のため、売上に影響がみられましたが、レストラン部は好調です。
そば・うどん店	天候不順（降雪）により来客及び配達に大きな影響が出ている。臨時休業を強いられることも多かった。また、仕入価格の上昇が目立つようになってきており、今後ますます上昇すると思われる。消費税率引き上げについても困っている。
すし店	地震発生に備えたいが、設備投資は実施できない。
喫茶店	仕入業者等は先行して値上げしている。さらに、週3回お越しいただいていた方の来店が2回になるなど、来客数が減ってきている。
美容業	美容業界の中で髪を専門とする美容師の若者が年々減っている。ネイル、まつげエクステなど、髪以外の新しいものに流れていることや、大変な仕事はやりたくない風潮、単純に若い層の人口減少など、先行きが不安である。人がいないことには売上につながらない職種である。
機械修理業	中古建機には海外からの問合せ、国内からの問合せともに多数有ります。建機修理等の増加も加わり中古建機は供給不足にて値上がりの模様です。消費税率引き上げで生活不安を無くしてもらうために、従業員への賃金アップを行うこととなります。先行きの景気上昇に期待しています。
ビルメンテナンス業	売上高は上昇傾向にありますが、人材の確保（特に建築部門）が厳しく、賃金の上昇も不安材料です。また、消費税の増税分も転嫁出来るか、これも不安材料です。
ビルメンテナンス業	今後ますます人の雇用が困難となることが懸念される。
ビルメンテナンス業	従業員の高齢化により人員不足が予想される。また、原油価格上昇による仕入単価の変動が予想されるので、資機材の見直しが必要。